

# 車種別取付資料

BOX No. 500831

車両情報

トヨタ マークX  
平成21年10月～

X13#系

1/4ページ

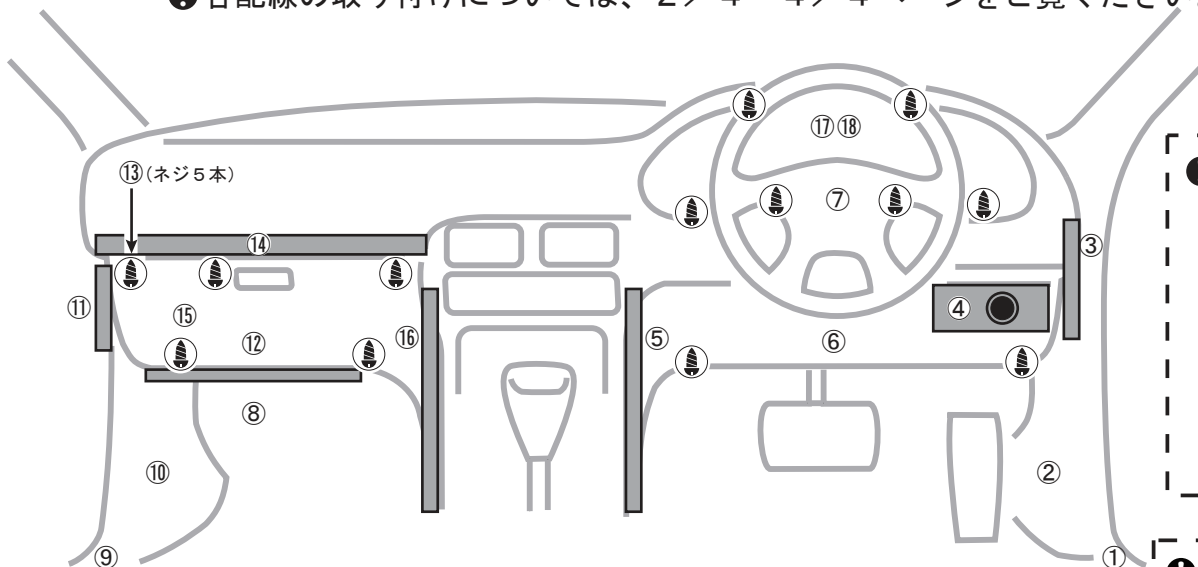
ES-89Light

Type N.L.  
Opt.

① プッシュボタンスタートシステム（スマートキー）付き車

◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

① 各配線の取り付けについては、2/4～4/4ページをご覧ください。



## ① カバー類の取り外し方（運転席側）

※エンジンスイッチ裏側の接続作業と、専用ハーネスの取り付け作業（必須）を行うためには、下記の部品を順番に外してください。

- ① 右サイドステップカバーを外す。
- ② 右サイドカバーを外す。
- ③ 右サイドパネルを外す。…はがすように引っ張る。
- ④ プッシュボタンパネルを外す。…手前に引っ張る。
- ⑤ センターコンソール右サイドパネルを外す。…手前へ引っ張る。
- ⑥ ロアカバーを外す。…正面下ネジ2本。
- ⑦ コラムカバーを外す。…正面ネジ2本。

## ① カバー類の取り外し方（メーター）

※メーターへの接続作業を行うためには、下記の部品を順番に外してください。

- ①⑦ メーターカバーを外す。…手前へ引っ張る。
- ①⑧ メーターを外す。…正面ネジ4本。

## ① カバー類の取り外し方（助手席側）

※J/Bへの接続作業を行うためには、下記の部品を順番に外してください。

- ①⑧ アンダーカバーを外す。
- ①⑨ 左サイドステップを外す。
- ①⑩ 左サイドカバーを外す。
- ①⑪ 左サイドパネルを外す。…はがすように引っ張る。
- ①⑫ グローブボックスを外す。
- ①⑬ グローブボックス内カバーのネジ（5本）を外す。
- ①⑭ グローブボックス内カバーの左上側にあるツメを浮かせながら、木目調パネルを外す。
- ①⑮ グローブボックス内カバーを外す。
- ①⑯ センターコンソール左サイドカバーを外す。…手前に引っ張る。

止めネジ等



# 車種別取付資料

BOX No. 500831

車両情報

トヨタ マークX  
平成21年10月～

X13#系

2/4ページ

ES-89Light

Type N.L.  
Opt.

① プッシュボタンスタートシステム (スマートキー) 付き車

## ① 注意事項

- スマートキータイプのエンジンイモビライザーシステムが装着されています。
- 取り付けできるエンジンスターターは、プッシュスタート専用モデルのES-89ProLight II PSi (商品コード: ESL40) のみ。
- PSI005取付ハーネスを使用します。
- オートマチック車認識設定のあとスマートキーの登録作業が続けて必要になります。
- 詳細は、取扱説明書を参照してください。

① CN2ハーネスの各配線の取り付けは3/4ページを、セキュリティ機能等を使用する場合、及び全てのドア開閉検出を行う場合のドア検出配線方法は、4/4ページをそれぞれ参照してください。



PSI005取付ハーネスで取り付ける車種は、リレーユニットのDIP-SWの1番をONにセットしてください。

① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。(3/4ページ参照)

## オートマチック車認識設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
- ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤ 設定完了

※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(専用ハーネスの配線色)

車両配線色

① 必ず配線してください。  
(通常時: 0V、フットブレーキを踏んだとき: 12V)

専用ハーネス  
STOP出力 (青)  
赤

フットブレーキ右上側  
4P緑色カプラ

エンジンスイッチの裏側  
14P黒色カプラ

専用ハーネス

14Pコネクタを割込接続

スマートコンピュータASSYの下側  
36P白色カプラ

イモビハーネス

36P中継コネクタを割込接続

① スマートキーコンピュータASSYの36P白色カプラに、イモビハーネスの36P中継コネクタを割込接続する。

ステアリングの右下側  
ステアリングロックアクチュエーター  
7P黒色カプラ



専用ハーネス  
12V(黄)  
肌色

① 常時12V

① 専用ハーネスのアース(黒)取り付け位置: サイドカバー内の車体のボルトに共締めしてください。

専用ハーネス

T134S

① 取り付け方法

- ① 専用ハーネスの14P中継コネクタを、上記のカプラに割込接続する。
- ② イモビハーネスを上記の36Pカプラに割込接続する。
- ③ 黄色/青色の2本をそれぞれエレクトロタップを使用して上記の場所に接続する。(あらかじめ接続先の配線は、テスターで電圧を確認して、確実に接続してください。)
- ④ アース(黒色)を、指定位置に固定する。
- ⑤ 10P赤色コネクタをリレーユニット(受信機)のCN1に接続する。
- ⑥ イモビハーネスの6Pコネクタを接続、CN-3からの6Pカプラにもうひとつを接続する。

# 車種別取付資料

BOX No. 500831

車両情報

トヨタ マークX  
平成21年10月～

X13#系

3/4ページ

ES-89Light **Type** N.L.  
**Opt.**

① プッシュボタンスタートシステム (スマートキー) 付き車

## ① 特有の注意事項

- セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合、及び全てのドア開閉検出を行う場合は、CN2のドア検出配線 (紫) は、別売のドア検出ユニットII (EP131) を使用して、必ず4/4ページで指定したとおりに接続してください。  
なお、全てのドア開閉検出を行わない場合は、運転席ドア線 (本ページに記載) に接続してください。
- エンジンスターターでアイドリング中は、スマートキー操作等でのドアロック/アンロックは作動しません。また、エンジンスターターによるアイドリング停止後は、スマートキーの操作 (ドアノブを握る) でアンロックはできません。…リモコンのSTOP操作でエンジンを止めてから、キーレスエントリーでアンロックをしてドアを開けてください。  
なお、Lightのリモコンによるアンロック操作は、アイドリング中も停止後も可能です。

① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

## オートマチック車認識設定

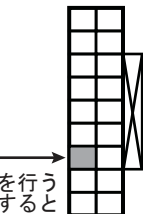
配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
  - ② リモコンでSTOPを押す。
  - ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後 (約3秒後) ブレーキを放す。
  - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
  - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容 (受信機CN2線色)  
車両配線色

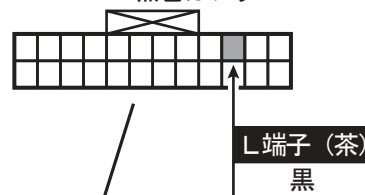
① 4/4ページの作業を行う場合はこちらに接続すると作業効率が良いです。

L端子 (茶)  
黒



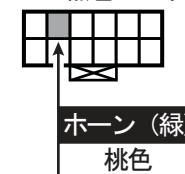
左サイドカバー内  
上から3番目  
18P白色カプラ

コンビネーションメーターASSY  
24P黑色カプラ



L端子 (茶)  
黒

コラム下側  
12P黑色カプラ



ホーン (緑)  
桃色

① セキュリティ機能を使用する場合のみ配線

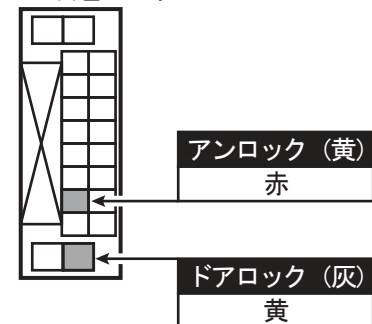
カウルサイドJ/B RH

カウルサイドJ/B RH  
一番上  
48P白色カプラ

① 運転席ドアの開閉のみ検出

運転席ドア (紫)  
赤  
オートライト (白)  
赤

右サイドカバー内  
上から4番目  
20P白色カプラ



アンロック (黄)  
赤

ドアロック (灰)  
黄

フットブレーキ右上側  
4P綠色カプラ

Pポジション (青)  
赤

① 必ず配線してください。  
(通常時: 0V、フットブレーキを踏んだとき: 12V)

## ① 注意事項

CN2のPポジション配線 (青) を必ず接続してください。  
また、オートマチック車認識設定は、本ページの左下に記載した手順でフットブレーキを使用して設定を行ってください。

# 車種別取付資料

BOX No. 500831

車両情報

トヨタ マークX  
平成21年10月～

X13#系

4/4ページ

ES-89Light

Type N.L.  
Opt.

① プッシュボタンスタートシステム (スマートキー) 付き車

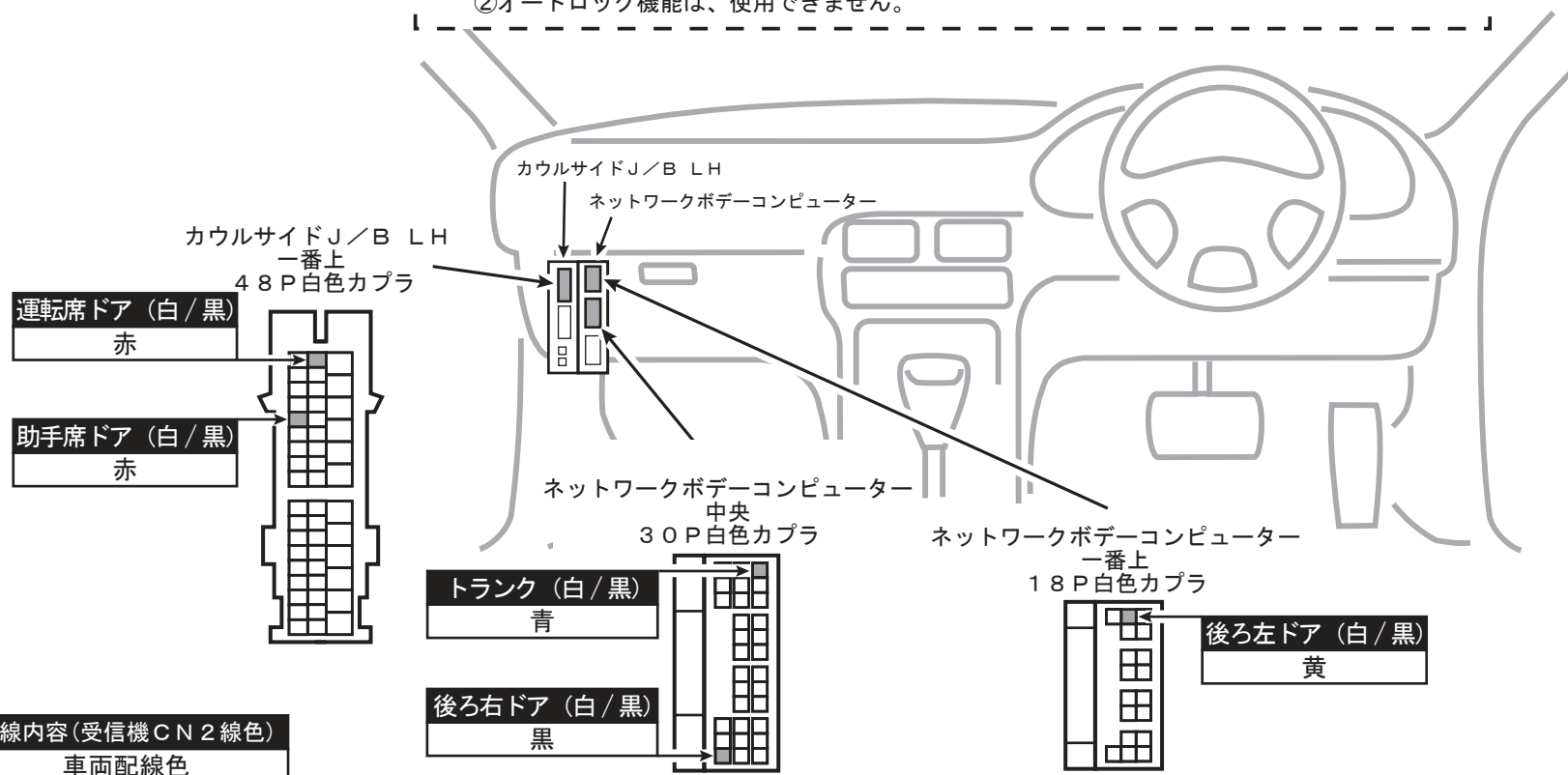
① セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合、及び全てのドア開閉検出を行う場合は、別売のドア検出ユニットⅡ (EP131) を使用して、CN2のドア検出配線 (紫) は、必ず下記5箇所に分岐接続してください。

① 特有の注意事項…上記に該当する場合

※CN2のドア検出配線を、必ず本ページで指定された位置に接続してください。

※ドア検出配線を、指定された箇所以外の場所に接続された場合、以下の機能等が使用できません。

- ①セキュリティ機能は、使用できません。
- ②オートロック機能は、使用できません。



① この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。